

**急募 平成 27 年度ウガンダ海外研修プログラム**  
**「援助対象地域」？アフリカ社会・文化を実地を知る体験プログラム」**  
**参加者募集**

**趣旨：**

「世界システム」や権力構造のしわよせが集約されてその構造が顕在化する周辺地域（そのおおくは現在、一般には開発援助の対象と「民族紛争」の温床として知られる）の代表格であるアフリカ社会を、当該地域に関心をもつ学生に実地体験する機会をもたらす。外国語（英語）によるコミュニケーション力の向上はもちろんだが、旧宗主国言語としての英語が優越し、英語とそれ以外の言語が流通する多言語状況（国境と言語分布のずれや矛盾の認識を実体験）、植民地経験の認識、グローバルな世界への関心を広げ、国際機関等への訪問と現地の市民との交流を通じ、広く留学、海外勤務、大学院進学というキャリアプランも選択肢として含む、「世界観」再考に資することを目標とする。

**募集人数：** 約 5 名（研究科、学部の合計）（応募者少数の場合、現地治安悪化などの諸事情で中止することがある）

**参加資格：**

以下のすべての条件を満たす者

- 1) 国際文化学部・研究科の学生（休学中は単位を取得できないが今回の参加は可能）で、研修後に留学を含むグローバル社会と多様な関わりを展望する者
- 2) 広くグローバルな視野を広げたいという希望を有する者、植民地経験とその痕跡について実地に体験し、考察を深めたい者
- 3) 英語でのコミュニケーション、他言語状況でのコミュニケーションに積極的に関わる強い意欲を有する者
- 4) 国際文化学部・研究科で実施の事前・事後の研修に参加できる者

※宿泊予定地には電気ガス水道がない地域もふくまれるので神経質な者は注意が必要である。また、JASSO 奨学金の対象ではないため、経費は自弁する必要がある。航空券、食費など含んだ総額は約 30 万円程度を予定。

**日程：**平成 27 年 8 月 20 日～8 月 30 日（若干の変更はあり得る）

**渡航先：**ウガンダ（エンテベ、カンパラ、ジンジャ、トロロなど）

**研修内容（予定）：**

1. 危機に瀕した世界遺産を管理するガンダ王国王族、復興事業（JICA が関与）に関するワークショップ
2. 開発 NGO での研修
3. マラリア撲滅に努力するエクステンション・ワーカーの活躍する村落の実態視察
4. 他民族国家ウガンダの多様な文化に関するワークショップ ほか

**研修の際の言語：** 原則として英語

**申込み方法：**

国際文化学研究科・学部の HP より申込用紙をダウンロードし必要事項を記入し、国際文化学研究科教務学生係（gicls-kyomugakusei@office.kobe-u.ac.jp）へメールにて提出する。メールで提出した申込用紙は印刷し、教務学生係のレポートボックスに提出。

**※申込用紙は電子ファイル及び紙媒体両方で提出してください。**

**申込み締切：** 平成 27 年 7 月 3 日（金） 17：00

**選考方法：** 書類選考および面接（応募者にはメールで面接日程をお知らせします）

**派遣者決定：** 平成 27 年 7 月上旬（教務掲示板及びメールにて通知する）

**引率者・問い合わせ：** 梅屋 潔准教授（研究室 E405 [umeya\[at\]people.kobe-u.ac.jp](mailto:umeya[at]people.kobe-u.ac.jp)）